2021 年体操女子代表選手選考方法

2021 年 5 月 11 日

（公財）日本体操協会体操女子強化本部

＜2020 年東京オリンピック日本代表選考方法＞

「チーム枠4名の選出」 ※2020 東京五輪種目別宣言者（種）は廃止

個人総合得点上位者　【3 名】	
①	代表選考会による選出 全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯の 3 試合個人総合合計得点から上位 3 名を選出する。

チーム貢献度による選出者 【1 名】	
②	女子強化本部長による推薦 2020 東京五輪に関わる全ての予選会の成績を参考にして、チーム貢献度が最も高いと判断した選手 1 名を推薦する。
③	チーム貢献度の算出による選出 ②に該当者がいない場合は、全日本個人総合(予選・決勝)と NHK 杯の 3 試合個人総合合計得点上位 8 名（日本代表選考の年齢等による資格を満たさない選手を除く）までの選手の中から、①で選出された 3 選手との組み合わせで算出されたチーム得点が最も高くなる選手を選出する。ただし、2 種目以上でチーム得点に貢献する事を条件とする。
④	③の該当者がいない場合は、3 試合個人総合合計得点による選出者の次点とする。

＜補足＞

上記③のチーム貢献度を判定するために採用する得点は以下の通りとする。

(1)跳馬は 1 本目の跳躍の得点とする。

(2)①で選出された 3 選手の得点は、全日本個人総合（予選・決勝）および NHK 杯の各種目の最高得点とする。

(3)チーム貢献度を判定される選手の得点は、全日本個人総合（予選・決勝）、NHK 杯の 3 試合のうち、各種目の最も高い 2 試合の得点の平均とする。

＜タイブレークルール＞

全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯の 3 大会の個人総合合計得点が同点の場合、以下の手順で序列を決定する。

(1)NHK 杯 1 日のみの個人総合得点の最上位者を上位とする。

(2)FIG タイブレークに準ずる。（NHK 杯 1 日のみの種目最低点を除く 3 種目の合計得点が高い選手を上位とする。）

[個人枠(1 名以内)の選出]

種目別 W 杯ランキング最上位者 【1 名以内】	
⑤	2018-2020 種目別 W 杯シリーズ(8 大会)において、2020 東京五輪出場個人枠を獲得した選手がいた場合、当該選手を選出する。

[補欠の選出]

1 チーム枠の補欠は、チーム枠で選出された各選手がそれぞれ交代する場合を想定して、③のチーム貢献度によって若干名を選出する。
2 該当者がいない場合は、3 試合個人総合合計得点の次点者を選出する。

＜2021 年北九州世界選手権大会＞

2021 年北九州世界選手権大会選考基準	
①	2020 東京五輪個人総合メダリスト・種目別メダリスト（各種目日本選手最上位者 1 名）を世界選手権代表選手として決定する。
②	全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯のいずれかで個人総合派遣標準得点に達した選手と①の個人総合メダリストを含め最大 2 名選出する。該当する選手がいない場合は、NHK 杯から最上位者 1 名を選出する。 【派遣標準得点:個人総合(55. 632)】2019 世界選手権決勝 8 位得点
③	全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯、全日本種目別(予選・決勝)の 5 試合のうち、各種目の最も高い 2 試合の得点の平均が派遣標準得点に達した選手と①の種目別メダリストを含め最大 3 名を選出する。 該当する選手が 1 名の場合は、派遣標準得点に最も近い選手を 1 名選出する。 該当する選手がいない場合は、派遣標準得点に最も近い選手を 2 名選出する。 ただし、個人総合枠が 2 名の場合は各種目 1 名、個人総合枠が 1 名の場合は各種目最大 2 名を選出とする。※各種目のエントリーが 3 名までのため 【派遣標準得点:跳馬(14.733)、段違い平行棒(14.733)、平均台(14.000)、ゆか(13.966)】2019 世界選手権 4 位得点
④	個人総合枠が 1 名の場合、個人総合枠は NHK 杯③の次点者 1 名を選出する。
⑤	補欠は③④の次点者とする。※交代の期限は大会開始の 4 週間前とする。

＜補足＞

※世界選手権候補選手を全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯、全日本種目別（予選・決勝）の 5 試合から 4 名選出する。候補選手は、2020 東京五輪の体操競技大会終了時までとする。
※跳馬は 2 本の跳躍の平均で、さらに上位 2 大会の得点の平均とする。
※全日本個人総合(予選)で 24 位以内に入らなかった選手が、派遣標準得点に達した場合、その種目のみを全日本個人総合(決勝)、NHK 杯にて行うことができる。ただし、各種目 4 名を上限とする。
※選考競技会で権利を獲得した種目のエントリーを優先する。各種目 3 名に満たない種目及び④で選出された選手の出場種目エントリーは代表合宿試技会にて決定する。

＜2021 年度ナショナル強化選手選出方法＞

1. 2020 東京五輪・第 50 回世界選手権代表選手
2. NHK 杯個人総合上位 12 名（2020 東京五輪・第 50 回世界選手権代表を含む）
3. 協会推薦選手若干名（1 名～3 名）

＜2021 年度ジュニアナショナル強化選手選出方法＞

※別紙資料参照